

まいばら協働事業提案制度 提案事業募集要領

令和5年度（令和6年度実施）

ひろげよう、協働のまちづくり

米原市では、米原市自治基本条例のもと、

「市民が主役のまちづくり」および

「協働のまちづくり」を推進しています。

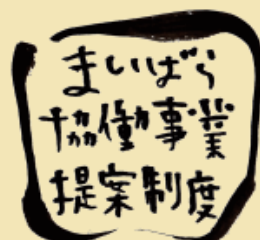
まいばら協働事業提案制度は、

「まいばらをこんなまちにしたいんや！」

そんな思いを市民と市が共に実現していくことを目指します。

募集期間

2023 8.1 tue
~ 9.8 fri



協働事業提案制度

「協働事業提案制度」ってなに？

地域には防災をはじめ環境や福祉、教育など様々な分野にわたる公共的な課題があります。近年は社会環境の変化によって、これらの課題は多様化・複雑化しています。

しかし、これらを行政組織だけで解決するのは困難で限界が見えている中、市民と市がそれぞれに持つ知識や経験、人材、情報、資金などを結集し、互いに役割分担することで解決していくための仕組みが「協働事業提案制度」です。

市では協働による持続的発展のまちづくりの実現に向け、平成24年度から「まいばら協働事業提案制度」を実施しています。

この制度で求める提案は、新たな事業や分野の提案だけでなく、市が既に実施している事業をより良いものにしようとする提案も含まれます。地域の実情や視点から「こんな方法でやればもっと良くなるのに...」、「市民と一緒にやればもっと効果があがるのに...」という市民のニーズを的確にキャッチした、市だけでは考えつかない発想の企画を提案いただき、計画、実施、検証、評価までを市民と市が協力し対等な関係で行うことにより、地域課題の解決を目指します。

市では、米原市自治基本条例第2条に「協働」を「まちづくりに関する役割分担に基づき、市民、事業者等および市が相互補完的に対等な立場で連携および協力をすすめることをいう。」と定義付けており、協働のまちづくりを推進するために人材育成や意識の向上、事業の構築を行っていきとしています。



目的

この制度でどんな効果を目指すの？

「まいばら協働事業提案制度」は、公共的な領域にある様々な地域課題を「協働」により、市民と市が協力して解決していくことで、「公共サービスの質の向上」、「市の既存事業の見直し」、更には「市職員の協働意識の醸成」を目的としています。提案団体にとっても、自発的な企画による事業領域の拡大や活動資金の調達、さらに団体活動の周知や認知、他の団体との連携などが期待できます。

ただし、この制度は『公益＝社会全体の利益』を目的として行う事業ですので、営利を目的としたもの、宗教活動および政治活動、施設の整備のみの提案はできません。また、同じ目的や目標、課題解決に向けてそれぞれの責任と役割分担を明らかにして行う事業ですので、市への一方的な要望や提案団体への資金面のみの支援といったものは、この制度になじみません。





業概要

まいばら協働事業提案制度はどんな内容なの？

1 提案できる団体の要件

この協働事業に応募することができるのは、**市内で市民活動を行い、5人以上**で構成された団体等とします。法人格の有無や団体としての経験年数は問いません。

団体の運営に関する規約などがあり、適正な会計処理が行われている（またはその見込みがある）団体等です。

また、企業による社会貢献活動も対象とします。

ただし、以下のような要件に当てはまる団体は対象外とします。

- ・ 宗教活動や政治活動を目的とした団体
- ・ 特定の公職者（候補者を含む。）または政党を推薦、支持、反対することを目的とした団体
- ・ 暴力団もしくは暴力団員またはこれらの統制下にある団体
- ・ その他公序良俗に反する団体



2 提案できる事業の要件

この制度で提案を求めるのは、提案団体と市が協働することで相乗効果が認められる公益的または社会貢献的な事業です。

地域課題、社会的課題の解決が図られる事業や広域的な地域の活性化につながる事業、または課題解決のための仕組みの構築に向けたモデル事業、調査研究事業も対象になります。

なお、事業は市内で実施されることが条件です。

例えば...

あくまで事業の一例です。
この他にも様々な分野、
事業が考えられます。

- ★ 市民の発想を生かしたイベントや講演会、地域ブランドの開発啓発事業の企画、運営など
- ★ 多様な市民ニーズに柔軟に対応できる、子育て支援や高齢者支援、障がい者支援
- ★ 地域との連携が不可欠な防犯、防災、地域福祉、環境美化など
- ★ 団体の専門性を生かした調査研究、相談事業など
- ★ 社会や地域の課題解決のための施策を構築するために行うモデル事業（特定地域でのモデル実施も可能）

以下の要件に当てはまる事業は対象外とします。

- ・ 営利を主たる目的とするものや、特定の個人や団体のみ利益に関わるもの
- ・ 宗教活動および政治活動または、選挙活動に関わるもの
- ・ 米原市または他の公共団体からすでに助成金等を受けているもの
- ・ 施設などの建設や整備を目的とする事業
- ・ 法令、条例などに反するもの
- ・ その他公序良俗に反するもの

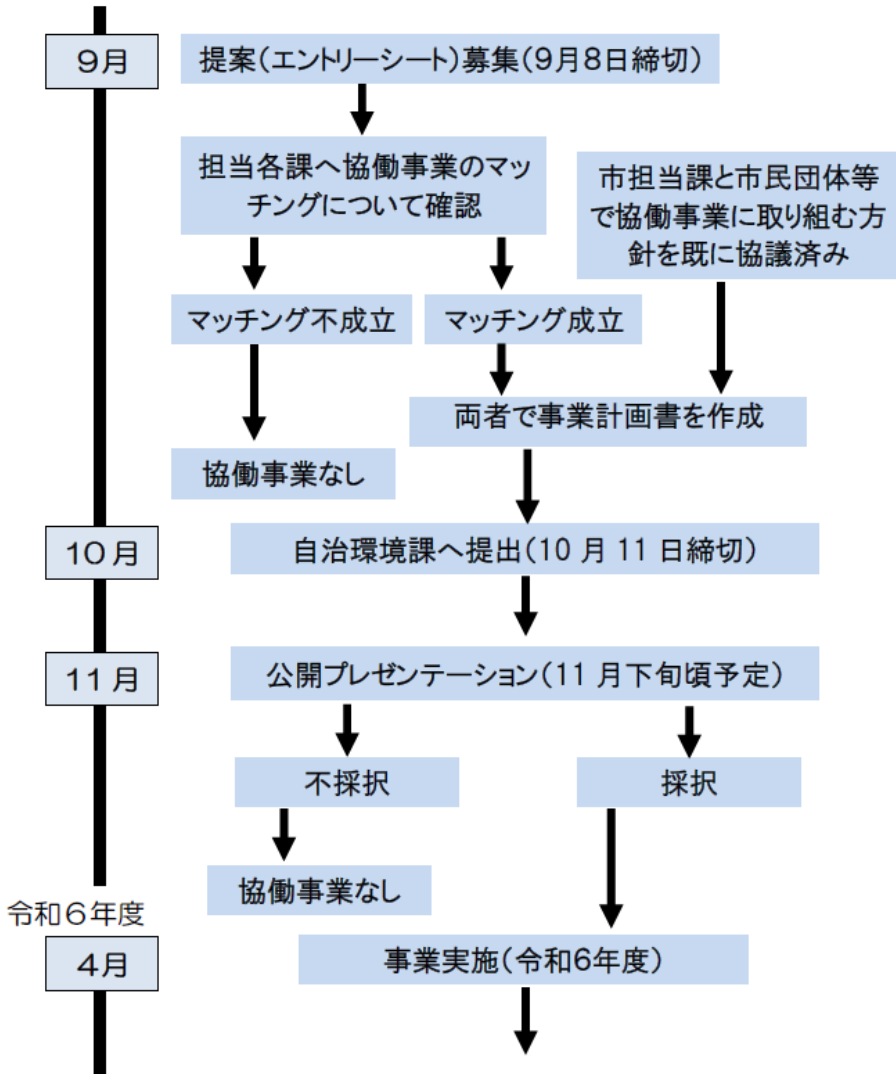


募手続

応募するにはどうしたらいいの？

1 募集から事業までの流れ

令和5年度(令和6年度実施)まいばら協働事業提案制度の募集の流れ



2 事業の相談

協働事業提案制度や提案事業の内容についての相談は、随時受け付けます。自治環境課までお気軽にご相談ください。

また、過去に採択された事業の一覧と事業概要が「米原市公式ウェブサイト」でもご覧いただけます。

制度のことや提案内容、書類の書き方などの質問、相談はお気軽に自治環境課☎53-5111まで！



3 応募に必要な書類（マッチング前）

市担当課とのマッチングができていない事業は、令和5年9月8日（金）までに次の書類を自治環境課に提出してください。

- ・エントリーシート

4 事前調査と市担当課の決定

提案のあった事業について、提出書類を基に以下の項目について事前調査をします。

- 1 関係する法令上、事業を実施することに問題がないか。
- 2 市の他の制度または仕組みで対応すべき事業でないか。
- 3 団体要件、提案事業要件に合致しているか。

また、市担当課と協働事業としてマッチングするか調査をします。

5 応募に必要な書類（マッチング後）

市担当課とのマッチングができていない事業は、令和5年10月11日（水）までに次の書類を自治環境課に提出してください。

- ・まいばら協働事業提案書【様式第1号】
- ・まいばら協働事業企画書【様式第2号】
- ・提案団体概要書【様式第3号】
- ・団体の規約、会則、定款など
- ・会員名簿、団体の活動が分かる資料（活動報告、チラシ、会報など）

6 事前協議

提案いただいた事業を実施するために必要な課題や手法の整理をするために、団体と市担当課および自治環境課の三者で協議を行います。事業を精査し、公開プレゼンテーションに向けての準備をしていただきます。

なお、この協議の結果、団体は提案書類の修正または事業提案を取り下げることができます。

7 相談、応募先

提案に関するご相談やお問合せ、応募のための書類の提出先は、次のとおりです。

〒521-8501 米原市米原1016番地
米原市役所（本庁舎3階） 市民部 自治環境課
TEL 0749-53-5111 / FAX 0749-53-5138
メールアドレス jichi@city.maibara.lg.jp

必要な様式は、米原市公式ウェブサイトからもダウンロードしていただくことができます。



査選考

審査ってどんなことをするの？

1 公開プレゼンテーション

提案事業は公開でプレゼンテーションをしていただきます。

プレゼンテーションには団体のほか市担当課も参加し、説明や質問に答えます。

■持ち時間：1事業につき10分程度の説明と15分程度の審査委員からの質疑応答があります。

■説明内容：提案事業の必要性や特徴の説明と、提案の有効性、協働実施の効果などをアピールしてください。

■説明方法：口頭で説明していただきます。プロジェクターも使用できます。

■準備物：プロジェクター、スクリーンは市で準備します。

また、パワーポイント用のパソコンも市で準備しますので、事前にデータを御提出ください。（使用されるデータによっては、市のパソコンで対応できない場合がありますので、事前にご相談ください。）



2 審査方法

市長が任命する有識者、市内で活動する団体に所属する市民などで構成する審査委員会によって以下の10項目について審査します。

審査項目		審査内容
公共性	①事業の公益性	将来にわたって市民の利益、または市民サービスの向上につながる事業（または計画）か
	②事業の必要性	現状を把握し、公共的な地域課題の解決や活性化のために必要とされている事業（または計画）か
具体性	③実施方法の具体性	事業内容、実施方法は具体的で実現可能な内容か
	④役割分担の適正性	団体と市の役割分担は明確で、相互の特性を生かすことができているか
協働性	⑤協働の必要性	課題解決のために、団体と市の協働の必要性が明確か
	⑥協働の効果	団体または市が単独で行うよりも相乗効果が期待できる市民サービスが提供でき、団体や市のメリット、他の団体への効果の広がりが期待できるか
実現性	⑦予算の適正	事業内容に対して適正な予算の積算がされているか 課題解決のための適正な予算規模か
	⑧事業の実施能力	団体に、事業を実施するために必要な知識や技術、体制などがあり、効率良く市との連携を図ることが認められるか
発展性	⑨継続性	事業に継続性があり、協働事業の補助期間以降も事業が進む可能性が高いか
	⑩発展性	将来、他への波及的効果や発展していく可能性があるか

3 事業の採択

審査委員会による審査結果の報告を受けて、市長が事業採択の可否を決定し、審査結果と事業の実施条件のほか、審査講評や審査委員会からの助言等を加え、書面により団体に通知します。

なお、実施条件を付して採択された事業については、団体はその条件に沿って事業が行えないと判断した場合は、提案を取り下げることができます。

事

業実施の流れ

どんな風に事業を進めていくの？



1 事業実施に向けての協議など

採択された事業は、実施に向けて団体と協働実施の市担当課が事業内容、事業スケジュール、役割分担などを精査します。

令和6年度の事業実施に向けて市の予算化が必要な場合は、市担当課が予算の計上を行い、市議会の議決をもって決定します。

2 事業協定の締結

協議の結果に基づき、団体と市担当課でまいばら協働事業実施計画書【様式第4号】を作成した後、協働事業協定を締結します。

3 事業の実施

事業協定締結後、団体と市担当課で取り決めた事項を遵守し、情報の共有と連携を図りながら円滑に事業を遂行してください。

4 確認

事業実施中は進捗確認や課題整理のため、団体と市担当課による確認を行います。

5 事業の評価

事業終了後、団体と市担当課でまいばら協働事業実施報告書【様式第5号】を作成し、事業の検証を行った上で、それぞれが「自己評価シート」による評価を行います。

注意事項

- ・事業の実施に当たり、事前の協議や計画、事業協定の中で承諾の無い再委託はできません。また、企画書や計画書、報告書に虚偽の記載があった場合は、事業協定を解除することになります。
- ・本制度は公開、公表を原則とします。
- ・提案の状況や審査結果、講評のほか事業の実施報告、成果、評価も公表の対象となります。

令和4年度募集（令和5年度実施）による採択事業

高齢者施設への読書支援

まいばら 本と人をつなぎ隊（継続）
（市：生涯学習課(図書館)）【自由提案型】

「市立図書館」は団体貸出制度の周知に努め、「まいばら本と人をつなぎ隊」は高齢者施設に出向き、本の運搬や読み聞かせ等のサービスを提供する。

ボランティアグループが高齢者施設への読書支援を行う仕組みを検討するとともにボランティアの育成を図る。

わたゆい

株式会社SINCA（継続）
（市：福祉政策課）【自由提案型】

地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する重層的支援体制整備事業のうち、参加支援の部分の部分を次の方法で担う。

近江手引き真綿を使った商品作り（ベビー掛け布団、ひざ掛け等）や桑の葉実栽培・桑を使った加工品試作品作り等を通して、高齢者サロン、介護予防活動の実施、就労支援の受け入れを行う。

DIYパーク!!

みんなで作る都市プロジェクト（新規）
（市：都市計画課）【自由提案型】

「みんながつかいたくなる公園をつくる」、「公園をつかう人をつくる」、「『自分たちごと』のまちづくりの体制をつくる」を目的に、公共空間の維持管理のあり方や具体的施策の立案、市民参加型政策の実践的促進、市民が活躍しやすい環境整備と雰囲気醸成を行う。

新都市公園整備計画の実施設計に伴い、ワークショップを開催し、実施設計に盛り込むべき設計要素を明らかにする。

令和3年度募集（令和4年度実施）による採択事業

高齢者施設への読書支援

まいばら 本と人をつなぎ隊（新規）
（市：生涯学習課(図書館)）【自由提案型】

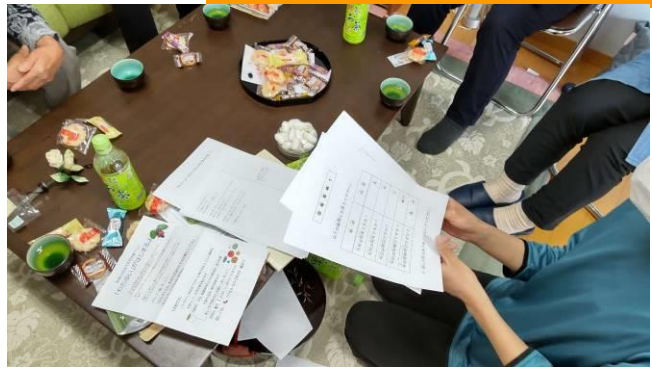
「市立図書館」は団体貸出制度の周知に努め、「まいばら 本と人をつなぎ隊」は高齢者施設に出向き、本の運搬や読み聞かせ等のサービスを提供する。
その活動内容をモデルケースに、ボランティアグループが高齢者施設への読書支援を行う仕組みを検討する。



わたゆい

株式会社S I N C A（新規）（市：福祉政策課）【自由提案型】

地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する重層的支援体制整備事業のうち、参加支援の部分を次の方法で担う。
近江手引き真綿を使った製品作り（近江手引き真綿布団、ひざかけ等）や関連商品作り（桑木栽培、桑木の葉・実の加工品作り）、商品のパッケージ作りの生産過程を通して、居場所作りや就労支援につなげる。



令和元年度募集（令和2年度実施）による採択事業 （令和2年度募集（令和3年度実施）による採択事業）

居場所づくり団体支援仕組みづくり（R2年:継続2年目 / R3年:継続3年目）

特定非営利活動法人 わっか（市：子育て支援課）【自由提案型】

子ども・若者の「居場所づくり」をテーマに、事業を支える仲間づくり、人材育成、啓発活動を行います。

また、子ども食堂などを行う市内の各団体は活動資金が乏しい状態のため、「寄付」「参加費」「補助金・助成金」等の資金を集める仕組みづくりに取り組みます。



ふるさと納税リブランディングプロジェクト（R2年:継続2年目 / R3年:継続3年目）

MAIBARA TRADING（市：政策推進課）【行政テーマ設定型】

ふるさと納税制度を通じて、米原の魅力ある「モノ」を再発見し、発信することで、米原と接点を持つ関係人口を増やします。

ふるさと納税を通じたガバメントクラウドファンディングの活用を目指し、体制づくりを行う。また、地域商社の立ち上げに利用できるプランを作成します。



上丹生工芸体験事業（R2年:継続3年目）

ものづくり普及推進会（市：政策推進課）【行政テーマ設定型】

外国人観光客等を対象にした体験観光メニューを構築するため、地域で営まれている伝統工芸の体験メニュー化を市内の工芸職人に呼び掛けるとともに案内マップの作成、ブロガーやホームページ、フェイスブックを活用した国内外へのPRを行います。

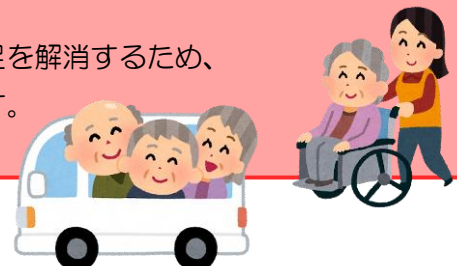


自助・互助による福祉移動支援事業（R2年:新規1年目）

社会福祉法人 米原市社会福祉協議会（市：くらし支援課）【行政テーマ設定型】

QOL（生活の質）を向上させるため、既存の外出支援サービスではカバーできない、買い物や余暇活動の移動支援を行います。

また、外出支援サービスの利用希望増加による運転手の担い手不足を解消するため、家族等が運転する仕組みにすることで自助・互助の推進を行います。



平成30年度募集（平成31年度実施）による採択事業



子ども・若者の居場所づくり事業 NPO 法人わか

(市：子育て支援課)【自由提案型】

子ども・若者が安心して過ごすことのできる米原市を目指して、地域の古民家を開放および冒険遊び場の開催等により、子ども・若者の居場所づくりを行います。また「居場所づくり」をテーマに、市内外の人に向けて活動の周知を図ります。

米原駅西口円形広場「りのべ」ぶろじえくと

MatteMatte まいばら委員会（継続2年目）

(市：建設課)【行政テーマ設定型】

米原駅西口円形広場が単なる通路ではなく、にぎわいと交流を創出する空間となるよう、市民が求める機能を手づくりで追加し、利用手引書を作成するなど持続可能な利用方法をまとめ上げます。

里山の持続可能な地域経営プロジェクト

東草野まちづくり懇話会（継続3年目）

(市：林務課)【自由提案型】

所有者も細分化され、管理がされない里山が獣害により荒廃していく状況を打開するために、集落で山を管理する集落営林制度の構築や循環の仕組みなど持続可能な6次産業づくりを行うとともに雑木林の継続的維持管理に対する行政支援の在り方を提案します。

米原まちづくり会議 ルッチまちづくりネット（継続3年目）

(市：米原近江地域協働課)【自由提案型】

まちに関わる意志を持つ人材の掘り起こしと市民と行政の対等な立場でのまちの課題解決に向けて、My本箱プロジェクトの実施と米原まちづくり会議、まちづくり人材ノ森集会を開催し、市民と市職員の協働に対する理解を深め、協働による市民主体のまちづくりの推進を図ります。

ITを活用したみんなで支える〈地域福祉〉のコミュニティづくり

河内区福祉委員会（継続3年目）／(市：くらし支援課)【自由提案型】

河内区の支え合い活動とITの活用により、より科学的で効果的な高齢者支援の実現とお茶の間創造支援事業への参加者の増加および支え手の育成を図るため、i-WCsを用いた見守り支援、お茶の間創造事業での生産活動の実施と人材育成等に取り組み、地域福祉基盤を備えたまちづくりを推進します。

農家×料理人の米原レストラン

米原レストラン プロジェクト（継続3年目）

(市：農政課)【自由提案型】

米原の農家・農産物のPR、販売先の確保により農業の担い手確保を推進するため、米原で頑張る農家の食材を米原の料理人が料理する米原レストランを開催し、農家と料理人のマッチング、農家と料理人のマッチングによる販路開拓や米原ファンの獲得、農家の紹介による新規就農者の確保を図ります。

ふるさと納税リブランディングプロジェクト

MAIBARA TRADING

(市：政策推進課)【行政テーマ設定型】

ふるさと納税制度を通じて、米原の魅力ある「モノ」を再発見し、発信することで、米原と接点を持つ関係人口を増やし、米原そのものを国内外に向けてTRADING（貿易）することを目指します。

上丹生工芸体験事業

ものづくり普及推進会（継続2年目）

(市：政策推進課)【行政テーマ設定型】

外国人観光客等を対象にした体験観光メニューを構築するため、地域で営まれている伝統工芸の体験メニュー化を市内の工芸職人に呼び掛けます。案内マップの作成、ブロガーやホームページ、フェイスブックを活用した国内外へのPRを行います。

地場産材を使った木箱型生ゴミ処理器普及事業

木の駅いぶき実行委員会（継続3年目）

(市：環境保全課)【自由提案型】

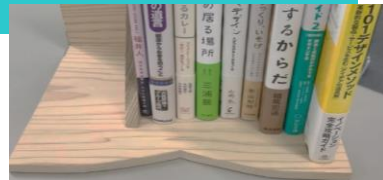
家庭ごみ削減により環境負荷を軽減するため、地場産材を使って木箱型生ゴミ処理器を製作、販売、ワークショップを通じて木箱型生ゴミ処理器の普及と社会的有益性をアピールします。また、高齢者のゴミ出し負担の軽減やたい肥の利用による菜園などの生きがいづくりにつなげます。

平成29年度募集（平成30年度実施）による採択事業

My 本箱プロジェクト

ルッチまちづくりネット（継続2年目）（市：米原近江地域協働課）【行政テーマ設定型】

すでにまちにあるモノや人の価値に注目してみんなで手入れしつなぎ合わせることで、市民側からの協働の広がりを目指した取組。蔵書を提供してもらい、市内の店舗等に本箱として設置し、それを巡回させることでまちづくりの思想やスキルを持った人材の考えを広め、顕在化します。また、その人材と実際に出会う場やまちの課題解決に取り組むための意見交換の場をつくり、人と人、人と行政をつなげます。

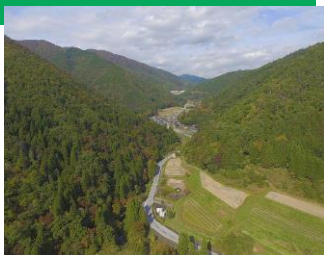


里山の持続可能な地域経営プロジェクト

東草野まちづくり懇話会（継続2年目）

（市：林務課）【行政テーマ設定型】

所有者も細分化され、管理がされない里山が獣害により荒廃していく状況を打開するために、集落で山を管理する集落営林制度の構築や循環の仕組みなど持続可能な6次産業づくりを行うとともに、雑木林の継続的維持管理に対する行政支援のあり方を提案します。



農家×料理人の米原レストラン

米原レストラン プロジェクト（継続2年目）

（市：農政課）【自由提案型】

米原の農家・農産物のPR、販売先の確保により農業の担い手確保を推進するため、米原で頑張る農家の食材を米原の料理人が料理する米原レストランを開催し、農家と料理人のマッチング、農家と料理人のマッチングによる販路開拓や米原ファンの獲得、農家の紹介による新規就農者の確保を図ります。



地場産材を使った木箱型生ゴミ処理器普及事業

木の駅いぶき実行委員会（継続2年目）

（市：環境保全課）【自由提案型】

生ごみを焼却処分せず木箱コンポストの中の黒土（バクテリア）で堆肥化することで資源活用やゴミの減量など環境負荷の削減を目指します。木の駅に集まった原木を用いてワークショップ形式で使用者自身が生ごみ処理器を作成します。また、高齢者のゴミ捨て労力の軽減やたい肥の利用による菜園などの生きがいづくりにつながります。



ゆっくりマルシェ

YUKKURI 米原（継続3年目）

（市：環境保全課）【自由提案型】

「ゆっくり」をテーマにマルシェを定期開催し、市民同士の交流を育み、お互いの心や活力がつながり発展する場として定着させるとともに、米原らしいスローな持続可能なライフスタイルを提案し、ブランド発信するとともにスローシティ認証を模索していきます。



平成29年度募集（平成30年度実施）による採択事業

ITをつかったみんなでささえる〈地域福祉〉のコミュニティづくり

河内区福祉委員会（継続2年目）・（市：くらし支援課）【自由提案型】

河内区の支え合い活動とITの活用により、より科学的で効果的な高齢者支援の実現とお茶の間創造支援事業への参加者の増加および支え手の育成を図るため、i-WCs を用いた見守り支援、お茶の間創造事業での生産活動の実施と人材育成等に取り組み、地域福祉基盤を備えたまちづくりを推進します。



米原駅西口円形広場「りのべ」ぶろじえくと

MatteMatteまいばら委員会

（市：建設課）【行政テーマ設定型】

米原駅西口円形広場が単なる通路ではなく、にぎわいと交流を創出するための空間となるよう、リノベーションするため、市民が求める機能や必要な機能を手づくりで追加するとともに、利用手引書を作成するなど持続可能な利用方法をまとめ上げます。

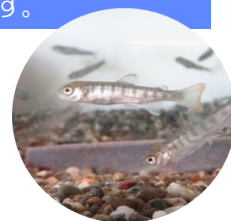


ビワマス普及保全事業

米原ビワマス倶楽部

（市：環境保全課）【自由提案型】

ビワマスの認知度を高め、ビワマスを通じた環境保全への意識向上により米原市のイメージ向上につなげるため、ビワマスの遡上および孵化状況の調査、生育環境の保全、イベント出展でのビワマスPR、動画配信によるPRを行います。



ワクワクおはなしライフ

おはなしボランティアと芸術の会

（市：山東・近江図書館）【自由提案型】

既存のおはなしボランティアの連携の強化、講習会やワークショップの開催を通じておはなしボランティアの人材育成とネットワークを構築し、読書活動の推進と図書館の活性化を図り、おはなしや絵本を通じてのいきがいづくりや社会参加を推進します。



上丹生工芸体験事業

ものづくり普及推進会

（市：総合政策課）【行政テーマ型】

外国人観光客等を対象にした体験観光メニューを構築するため、地域で営まれている伝統工芸の体験メニュー化を市内の工芸職人に呼び掛けるとともに案内マップの作成、ブロガーやホームページ、フェイスブックを活用した国内外へのPRを行います。



平成28年度募集（平成29年度実施）による採択事業

マイクリングプロジェクト

マイクリングプロジェクトチーム（継続3年目）
（市：生涯学習課）【行政テーマ設定型】

スポーツを通じたまちづくりを進めるため、米原らしいサイクリングスタイルをマイクリングと名付けて自転車生活を楽しむ文化を醸成します。今年度は観光資源を線で結ぶサイクリングコースの活用、イベントの開催などを通じて多方面からの来訪を目指した活動と市内向けに親子で楽しめるような活動を目指します。

ゆっくりマルシェ

YUKKURI 米原（継続2年目）
（市：環境保全課）【自由提案型】

米原ならではの強みを活かし、持続可能なライフスタイルの素晴らしさに気付く機会の場を作るため、ルッチプラザで定期的にマルシェを開催し、市民の環境志向、健康志向の高まり、市民ネットワークの向上を目指します。今年度は環境フォーラムの他にスローシティ認証実現の可能性を探ります。

里山の持続可能な地域経営プロジェクト

東草野まちづくり懇話会
（市：林務課）【行政テーマ設定型】

所有者も細分化され、管理がされない里山が獣害により荒廃していく状況を打開するため、自伐型林業により間伐材や広葉樹林を活用し、集落で山を管理する集落営林制度の構築や循環の仕組みなど持続可能な6次産業モデルを目指します。

農家×料理人の米原レストラン

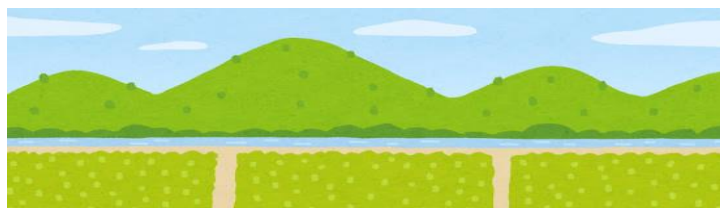
米原レストラン プロジェクト
（市：農政課）【自由提案型】

農業という職業や米原の農産物の魅力を市外に発信し、米原での就農者の増加や新規就農者の販路拡大への結びつきを狙って農家と料理人がコラボレーションしたレストランを開催します。農家や料理人を主役に新しい米原ブランドとして農家や飲食店を盛り上げます。

ITをつかったみんなでささえる〈地域福祉〉のコミュニティづくり

河内区福祉委員会・（市：くらし支援課）【自由提案型】

地域の互助力×IT で安心な暮らしを実現するモデル事業として取り組み、滋賀大学と連携し、高齢者世帯へのアンケート調査を行うなど、地域コミュニティの今後を思考します。また、高齢者宅TVに「見守りユニット」を設置し、体操やゲーム、地域のお知らせを配信など、TVを介しての双方向コミュニケーションで地域とのつながりを深めます。さらに、得られた情報をデータベース化して介護予防や早期発見につなげていきます。



地場産材を使った木箱型生ゴミ処理器普及事業

木の駅いぶき実行委員会
（市：環境保全課）【自由提案型】

生ごみを焼却処分せずに木箱コンポストの中の黒土（バクテリア）で堆肥化することで資源活用やゴミの減量など環境負荷の削減を目指します。木の駅に集まった原木を用いてワークショップ形式で使用者自身が生ごみ処理器を作成します。また、高齢者のゴミ捨て労力の軽減やたい肥の利用による菜園などの生きがいつくりにつなげます。

米原まちづくり会議

ルッチまちづくりネット
（市：米原近江地域協働課）【行政テーマ設定型】

すでにまちにあるモノや人の価値に注目してみんなで手入れしつなぎ合わせることで、市民側からの協働の広がりを目指した取組。蔵書を提供してもらい、市内の店舗等に本箱として設置し、それを巡回させることでまちづくりの思想やスキルを持った人材の考えを広め、顕在化します。また、その人材と実際に出会う場やまちの課題解決に取り組むための意見交換の場をつくり、人と人、人と行政をつなげます。



～平成27年度募集（平成28年度実施）による採択事業～

★柏原地区古民家活用サポート事業／未来へつなぐ古民家活用サポーターズ （市：山東自治振興課）【自由提案型】

空き家、古民家を地域の賑わいや活性化の拠点として活用するためのモデル事業を柏原区で実施します。古民家の改修や修理をワークショップ形式で行い、住居ではなくコミュニティースペースとしての活用を地元参加型で一緒に行い、併せて古民家の活用の提案やサポートを行います。



★^{とさい}東西東西プロジェクト／はびろネット

（市：山東自治振興課）【自由提案型】



東西文化の分岐点という特性を活かし、この地域の文化力を再認識・再評価することで地域活性化を目指します。今回のテーマは「食文化」とし、特に次代を担う子どもたちの交流と教育的効果への波及を目指します。これらの活動を通じて、地域の子どもたちの郷土愛、生きる力を育み地域の教育力の再構築も目指します。

★マイクリングマップの作成／マイクリングプロジェクトチーム （市：生涯学習課）【行政テーマ設定型】

スポーツを通じたまちづくりを進めるため、誰でも取り組めるサイクリングに焦点を当て、米原らしいサイクリングスタイルをマイクリングと名付けて自転車生活を楽しむ文化を醸成する。観光資源を線で結ぶイベントの開催やサイクリングコースの作成、参加者間のコミュニケーションを行います。



★ゆっくりマルシェ／YUKKURI 米原

（市：環境保全課）【行政テーマ設定型】



米原ならではの強みを生かし、スローライフや持続可能なライフスタイルの素晴らしさに気付く機会のある場を作るために環境啓発に係るフォーラムのほか、市民同士の交流拠点となることを設置目的に掲げるルッチプラザ1階ロビーにおいて、定期的にマルシェを開催します。市民全体の環境指向や健康志向の高まりの場や市民のつながり場を提供します。

～平成26年度募集（平成27年度実施）による採択事業～

★柏原地区古民家活用サポート事業／未来へつなぐ古民家活用サポーターズ

（市：山東自治振興課）【自由提案型】

空き家・古民家を地域の賑わいや活性化の拠点として活用するためのモデル事業を柏原区で実施しています。

地域のよりどころとしてイベントの開催や地域交流会、民泊体験などを地元参加型で一緒に行っています。認知度が上がり、他府県や外国の方が訪れたり活動の幅に広がりを見せています。



★^{とさいとうざい}東西東西プロジェクト／はびろネット

（市：山東自治振興課）【自由提案型】



県境である柏原地域と関ヶ原町の今須地域を舞台に、東西文化の歴史的、文化的資源を再認識、再評価することで地域交流と活性化を推進しています。

平成27年度は方言・ことばをテーマに「境目寄席」を行ったり、調査・研究過程で関ヶ原町と共同企画の折衝のうえ、ハンドブックを作成するなど団体として活動の幅を広げています。

★地域で子どもを育てる“冒険遊び場”／プロジェクトK

（市：子育て支援課）【自由提案型】

子どもたちが自然の中で自由に遊べる「冒険遊び場」の開催を毎月2回に増やしたことや、講演会や出前講座を実施したことによって認知度がさらに上がりました。宇賀野の冒険遊び場との連携や、湖北地域の団体との交流会なども行い、協力者や関心をもっといただける方が増加し、地域の理解も広がり、備品や材料の提供が増えたりと多くの交流が生まれています。



★米原まちづくりネットワークの構築／ルッチまちづくりネット

（市：政策推進課）【行政テーマ設定型】



「・・・のまどカフェ」や「まちづくり人財ノ森集会」などの交流の場を設け、誰でもまちづくりに参加できる仕掛けや活動団体同士の接点をつくることで、新たな市民活動の広がりやつながりのきっかけを生み出したり、「まいばら茶論ミーティング」でワークショップを用いて10年後の自分たちが住みたい米原を考えたりと、活動の幅はさらに広がっています。

★米原ファミリーアートフェスタ／米原ファミリーアートフェスタプロジェクト

（市：政策推進課）【自由提案型】

子どもたちが日常生活の中で文化や芸術に触れ、創作活動を通じた自己表現力の向上と伝統文化を尊重したグローバル感覚を身に付けることを目的としています。専門知識を持った講師が絵画や木工、音楽のほかに敷居が高く感じられがちな茶道や華道の体験を提供することで、親子や参加者に対して芸術や伝統文化への興味や学びの機会を提供しています。



★マイクリングマップの作成／マイクリングプロジェクトチーム

（市：生涯学習課）【自由提案型】



まいばら×サイクリング＝マイクリングとして自転車による新しい米原の楽しみ方を提案しています。

米原駅からのサイクルツーリズムの具体的なイメージを提案し、マップ作成（結びの岩コース・伊吹せんろみちコース）やサイクリング事業の積極的な発信を行っており、自転車を楽しむ人の輪が広がっています。

～平成25年度募集（平成26年度実施）による採択事業～

★柏原地区古民家活用サポート事業／未来へつなぐ古民家活用サポーターズ

（市：山東自治振興課）【自由提案型】

空き家、古民家を、地域の賑わいや活性化の拠点として活用するためのモデル事業を柏原区で実施しています。古民家の改修や修理をワークショップ形式で行うほか、地域のよりどころとして様々な活用を地元参加型で一緒に行っています。

教育旅行の受け入れなど、活動の幅に広がりを見せています。



★東西東西プロジェクト／はびろネット

（市：山東自治振興課）【自由提案型】



県境である柏原地域と関ヶ原町の今須地域を舞台に、東西文化の歴史的、文化的資源を再認識、再評価することで地域交流と活性化を推進しています。

関ヶ原町との連携による「境目の歴史文化」連続講座は多くの反響があり、住民同士の交流にも繋がっています。

★地域で子どもを育てる“冒険遊び場”／プロジェクトK

（市：子育て支援課）【自由提案型】

子どもたちが自然の中で自由に遊べる「冒険遊び場」の定期開催日を増やしたことや、特別企画を実施したことによって参加者やリピーターが増え、より多くの方に周知が図れています。また、宇賀野にできた冒険遊び場との連携や、湖北地域との交流会などから、協力者や関心をもっていただけの方が増加しています。



★米原まちづくりネットワークの構築／ルッチまちづくりネット

（市：政策推進課）【行政テーマ設定型】



カフェ形式で初めてでも参加しやすい交流の場「・・・のまどカフェ」や、市内で活動する団体の活動支援と交流の場「まちづくり人財ノ森集会」を開催し、何かのきっかけで居合わせたグループ同士がそれぞれの技術経験を生かして仕合せるといった機会がたくさんあることが、継続的な発展のために大切であるということ学び、ワークショップを行うことで参加者同士の輪が広がっています。

★米原のタウン情報「まいスキッ！」発刊／まいばらフリーペーパー

（市：政策推進課）【自由提案型】

定期発刊のおかげで、知名度が上がり、市民のほとんどの方がまいスキッ！を知っていただけるようになりました。

公共施設新聞に取り上げた施設については利用者が増えたとの報告や、広告やマップに掲載した店舗からの反響も大きく、年間契約で掲載いただける会社が増えています。



★Myばらで米原のまちづくり／Myばらプロジェクト

（市：政策推進課）【自由提案型】



My（私の）ばら＝「米原」をキーワードに、市内をバラで彩り、誰もが参加でき新しい米原のイメージとして市外に発信することで、活力ある元気な米原のまちづくりを推進しています。米原駅西口駅前広場での花壇を活用したイベントの実施や企業や学校などの植栽活動のほか、学校にまいばらコサージュ作りや大学生との連携事業を進めています。

★伊吹の天窓／伊吹の天窓実行委員会

（市：政策推進課）【自由提案型】

これまでの取組から「伊吹の天窓」事業は、地域住民・団体・企業・大学など多様な主体に参画していただける事業となりました。

また、本年度から地元の産業や活動団体とともに米原市の魅力を創りだす活動が始まりました。



～平成25年度実施事業の実績と評価～

★地域で子どもを育てる“冒険遊び場”／プロジェクトK

(市：子育て支援課)【自由提案型】

市内に冒険遊び場がもう一カ所スタートしました。

審査員からは、子どもたちが仲間づくりをする良い場所になり、どこの集落にも里山や空地があるため、地域にあった自然の場を上手く利用した遊び場づくりの発想をアドバイスしていただきたいと評価いただきました。



★わが子を伝えるサポートブック～障がい支援のスケジュール～ ／NPO 法人でこぼこフレンズ (市：福祉支援課)

【行政テーマ設定型】

講演会や映画の上映、相談支援ファイルの啓発などを行いました。

審査員からは、まずはエキスパートといえるリーダーづくりと悩む人を支えてくれる人づくりのために正しく理解してもらう啓発が必要であると応援いただきました。



★米原まちづくりネットワークの構築／ルッチまちづくりネット (市：政策推進課)【行政テーマ設定型】

カフェ形式の交流の場「のまどカフェ」の定期開催、市内で活動する団体の交流会「人財の森集会」を開催しました。

審査員からは、この事業は接着剤のような事業であり、表に出ていない活動や人を掘り下げていく活動こそ大事であり、数の成果ではなくそれが継続されることが大事であると評価いただきました。



★米原のタウン情報「まいスキッ！」発刊／まいばらフリーペーパー

(市：政策推進課)【自由提案型】

毎回設定するテーマにそって市民目線の情報にこだわり、市内の産業振興と米原市再発見を目的とした団体と行政でつくる米原のタウン情報誌「まいスキッ！」を6、9、12、3月の年4回発刊しました。

審査員からは、他の協働提案事業を特集してはどうか。企画展で作られた動画とのコラボは面白い。事業者とのコラボも視野に入れ魅力を発信いただきたい。この制度としては今年度で終了だが、これまでどおり継続してほしいと評価いただきました。



★Myばらで米原のまちづくり／Myばらプロジェクト

(市：政策推進課)【自由提案型】

身近なまちづくり活動として、バラをテーマに、剪定・挿し芽体験、植栽事業、コサージュづくり、シティー展などを実施し、多くの親子や子どもに参加いただきました。

審査員からは、小さいころの経験は大人になってからのまちづくりに繋がる。小さな活動が将来大きくなる。自治会にも植栽を広げてみてはどうか。自治会の花壇から各家庭に広がるのではと提案いただきました。



★伊吹の天窓／伊吹の天窓実行委員会

(市：政策推進課)【自由提案型】

人々の交流の場であり、年一度の多様かつ大規模なワークショップとして位置づけた里おこしイベント「伊吹の天窓」は年々参加者が増え、米原市のイベントとして成長しています。また、他の団体や企業との連携、協力も大きく、活動の幅が年間を通して拡大しています。

審査員からは、数を増やすことにとらわれず、イベントの特色を地域ならではのモノにこだわり続けてほしい。定住を目指した取組として10年は続けてほしいと評価いただきました。

～平成24年度実施事業の実績と評価～

1年間の事業終了後は、団体、市担当課がそれぞれに自己評価し事業実績を報告します。審査委員も出席する事業報告会では、次年度の活動へのアドバイスがあります。報告会の詳しい内容は、米原市公式ウェブサイトでもご覧いただけます。

★米原のタウン情報「まいスキッ！」発刊

団体名：まいばらフリーペーパー／市：商工観光課

準備号0号を12月に発行し、市内外から多くの反響がありました。まずは米原市民に米原のことをもっと知ってもらいたい、だからこそ全戸配布は意義があります。

審査委員からも、今後、市の広報の一端を担う民間の力として期待されています。



★Myばらで米原のまちづくり

団体名：Myばらプロジェクト／市：市民自治センター

市役所各庁舎で近隣市民参加型のモッコウバラの植栽イベントを行いました。親子で参加いただき、世代に関係なく取り組んでもらえることがこの活動の特徴です。

学校での在校生が卒業生に贈るMyばらブローチのコサージュ作りも子どもたちに人とのつながりを伝えるよい機会といえます。



★伊吹山テレビ文字放送情報のオンライン化

団体名：米原IT推進部／市：広報秘書課

米原市公式ウェブサイトのリニューアルに合わせて、「伊吹山テレビOnline」が誕生しました。

伊吹山テレビの文字放送で放送された内容が、カテゴリー別に掲載されており、過去の情報も蓄積されています。

Facebookでも発信され、伊吹山テレビの文字放送の情報をいつでもどこでも知ることができ、市外にも発信できるようになった点も評価されています。



★伊吹の天窓

団体名：伊吹の天窓実行委員会／市：水源の里振興室

「伊吹の天窓」を奥伊吹スキー場で7月14日に実施しました。

もうひとつの取組は、草刈り、雪踏みの2大厄介事をポジティブに捉えたダンスを創作。雪踏みダンスの曲「イプッキ行進曲」をイベントのテーマソングにして、曲とダンスで市外へ発信しています。

発想や若者の力、事業者との連携や協力もあり、新たなビジネスモデルとしての発信も期待されます。

